

編纂室日誌



平成元年一〇月六日
平成二年三月三十一日

平成元年（一九八九）

- 10・6 民俗班調査研究会
- 10・12 木村重信家資料調査
- 10・20 近世班研究会
- 11・1 民俗班調査研究会
- 11・6 近代資料編編集（新井委員）
- 11・13 第50回編集専門委員会
- 11・27 民俗班調査研究会
- 12・6 民俗班調査研究会（名称変更）
- 12・13 福生市史公開講座（名称変更）
- 12・15 民俗班調査研究会（講師宮崎礼氏）
- 12・26 刊行計画打合せ（北原委員）
- 12・27 製糸工場写真提供（小峯正平氏）

平成二年（一九九〇）

- 1・6 現代班打合せ会（川鍋委員、田村・高崎・橋本・柚木調査員）
- 1・8 近代資料編編集（新井委員）
- 1・17 民俗班調査研究会
- 1・18 第51回編集専門委員会
- 1・24 資料提供（森田豊氏・武蔵野市）
- 2・1 近代資料編編集（北原委員）
- 2・1 資料提供（森田豊氏）
- 2・1 第10回市史編さん委員会（刊行計画の変更）
- 2・2～4 第2回多摩郷土誌フェアー
- 2・26 近世班編集打合せ（北原委員他）
- 3・5 近代資料セレクト（新井委員）
- 3・6 第52回編集専門委員会
- 3・16 編さん状況報告（総務委員会）
- 3・23 編さん状況報告（全員協議会）
- 3・24 福生市史公開講座「福生のすまいの姿遷を考える」保坂和子氏「多摩の食生活」佐野和子氏
- 3・28～29 研究視察（福島県喜多方市）
- 3・30 みずくらいと10号刊行

編集後記



◎さる七月一日(日)、市制二十周年の記念式典が市民会館で開かれた。色いろなイベントも市内各地で様ざまに催されている。「輝く街福生」を旨として、Active(行動的)・Creative(創造的)・Challenging(挑戦的)・略してACCの合言葉もできた。国際化時代のイメージ・キャンペーンこれを単なる言葉遊びに終らせない積極性と批判精神こそ、新しい街づくりに必要。

◎市史の編さんも二十周年を迎えるための事業の一環であった。初発の精神を忘れない。上巻はいよいよ執筆体制へ。史料集も近代Iに続いて近世III・民俗下・現代と目白押し。史料集を、市民の皆さんとじっくり読む研究講座も話題に上っている。

◎本誌の表題のもとになった玉川上水の掘り替え跡、水喰土が史跡指定の運びに。市民が歴史に思いをはせる恰好の緑陰。

◇編集担当は、川上一雄・北原進

みずくらいど 11号 (福生市史研究)

平成2年(1990)9月30日 発行

編集 福生市史編さん委員会

発行 ^{ふつ}福 ^き生 市

〒197 東京都福生市本町5番地

電話 0425(51)1511

印刷 株式会社 精興社

〒198 東京都青梅市根ヶ布1-385番地
